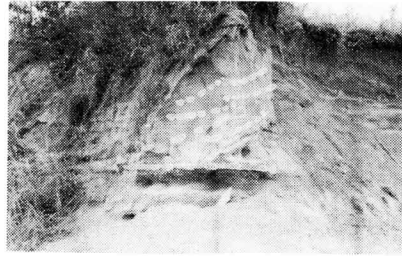


大東小学校（乙字ヶ滝）

1、地層の観察

(1) 観察する場所

山の坊団地入口のがけ



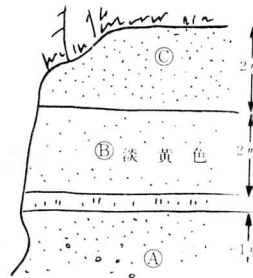
(2) がけから離れて地層全体を観察する。

① がけの地層が見通せる所から、がけの全景をスケッチする。

② 地層の重なり方に注意して、地層を書き入れる。

また、地層の色や、厚さ、地層に見られる模様（クロスラミナ）など気付いたことを書き入れる。

③ この高台は、波の模様のあるレキ層や粗い砂層等が積もって、できていることを理解する。



④ また、沼の模様の地層のように特徴あるものを水平方向に追って、地層には広がりがあることも理解する。

(3) 地層に近づいてその特徴を観察させる。

④層は粗い砂に、小さな円レキを含み、火山灰が混じっている凝灰岩質砂層で、レキの並び方や葉理は、水平方向の層理面と斜めに交わっており、このA層の堆積した環境は、湖の水汀に近い場所であったと考えられます。

⑤層は淡黄色をした粗い砂からできています。砂には透明な石英の粒が多く含まれており、アルコーズ砂層と呼ばれます。この砂は花こう岩が風化して砂となったものです。この地層の下部には、うすく細粒凝灰岩質砂層が積もっています。

⑥層は茶褐色をしたレキ層で、レキの並び方は波のように互に斜交した、いわゆるクロスラミナが見られます。このような模様の地層は④層と同じ水汀の